



トップ
に聞く！

目指すはグループ年商1,000億円。
社員の高い人間力を武器に全国展開する
九州NO.1の総合試薬デューラー。

正晃株式会社
代表取締役社長

印 正裁氏
いん まさや

取引店／福岡銀行 箱崎支店





▲本社前(左から印社長、柴戸頭取)

研究用試薬を販売する、社員3人の会社からスタート

我が社、及び当グループは、九州一円を中心に関東や関西、北海道等に営業拠点を構

え、大学や医療機関向けに試薬（※1）、臨床検査薬（※2）、医療用検査機器、学術研究用分析機器（理化学機器）等を販売しています。

創業は1950年（昭和25年）。

北九州市内の会社で働いていた私の父・正司が、親戚からの誘いを受けて福岡市の薬品卸売会社に転職し、事業を引き継ぐことになったのが始まりです。創業時の社員は正司を含め3人のみで、塩酸や硫酸といった研究用試薬をリヤカーに積み、大学や研究所に営業していたそうです。

その後、医療技術の進歩に伴い、血液検査や尿検査等に用いる

医療、健康、産業の様々なシーンで社会と業界の発展に貢献しています。



印社長▶

取 扱 商 品

医療・理化学機器



試 薬



臨 床 検 査 薬



臨床検査薬の需要が急激に高まってきました。「これは我が社にとって事業拡大のチャンスだ」と確信した正司は、試薬の次に検査薬にも参入し、それまでの試薬販売で培ってきた得意先とのネットワークを活かしながら精力的に営業を行い、次第に取引先を増やしていきました。

正司が次に着目した商材は臨床検査機器です。その新事業を私（正哉）が担当することになりました。

（※1）試薬…大学での研究等に用いられる薬品

（※2）臨床検査薬…血液検査等、病院で行われる検査用の試薬

猛勉強で知識とともに顧客の信頼を獲得

私は大学卒業後すぐに、父の勧めで大阪の試薬メー



正晃 株式会社

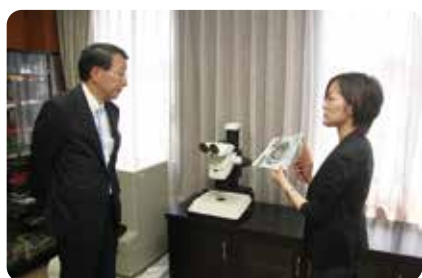
カー「和光純薬工業株式会社」でお世話になりました。多くの病院を営業で回りましたが、最初とはかく断られ続け、「もう来なくていい」と言われたことも何度となくありました。しかし、諦めずにお客様や商品について猛勉強しながら、繰り返し通い続けるうちに、徐々に受け入れてもらえるようになり、取引先が増えてきました。

その後、1979年（昭和54年）に我が社に入社。和光純薬での営業の経験を活かしながら、少しずつ業績を伸ばすことができるようになりました。検査機器の販売部門は私を中心になってゼロから立ち上げましたが、最初の一台が売れた時は、本当に嬉しかった記憶があります。検査機器が売れると、付随して検査薬の取扱量も増えるため、この時期に我が社の売上は今



試薬・診断薬・機器分野にとどまらず、活躍の領域を広げておられますね。

見学風景



「私たちがお届けにまいります！」



お気軽にご相談ください！

◀ 柴戸頭取

その他



▲ 器材



▲ 化成品・電子材料



▲ 医療材料



▲ ITビジネス



▲ 健康食品



▲ コンピュータ・家電

後大きく伸びていくであろうことが実感できました。

私は、こうした経験から、お客様と積極的にコミュニケーションを図り信頼関係を築いていくことが、仕事を行う上では何よりも重要だと実感し、社員にも徹底して指導してきました。幹部社員や中堅社員は、私の志に共感してくれており、また若手社員も先輩社員の背中を追いかけて日々成長しています。私と想いを共有し、勉強熱心で「人間味」や「人間力」を備えた社員たちの存在こそ、我が社最大の強みです。

お客様からの

要望にお応えするため、

事業領域を拡大

私が1991年（平成3年）に社長に就任して以降、M&Aや営業所の新設を進め、現在では、北海道から沖縄までグループの



営業エリアが拡大しました。事業領域についても、お客様からの要望にワンストップでお応えするために、試薬、検査薬、検査機器、理化学機器の販売に加え、医療器材の販売や医療関連システム・ソフトウェアの開発等も手がけるようになりました。また「薬品の在庫管理が大変」というお客様の課題を解決するために、独自の薬品在庫管理システム（SPDシステム）も構築することが出来ました。このシステムは、「お取引先の病院」

と「我が社の物流センター」をインターネットでつなぎ、補充が必要な薬品の種類と数をシステムが認識し、我が社へ発注・出庫の指示を出す仕組みになっています。医療機関のお客様からは、在庫の管理と発注の手間が軽減できると、大変好評いただいています。

国内・海外で事業を拡大し、 グループ年商1,000億円へ

今年4月、我が社は新たなス

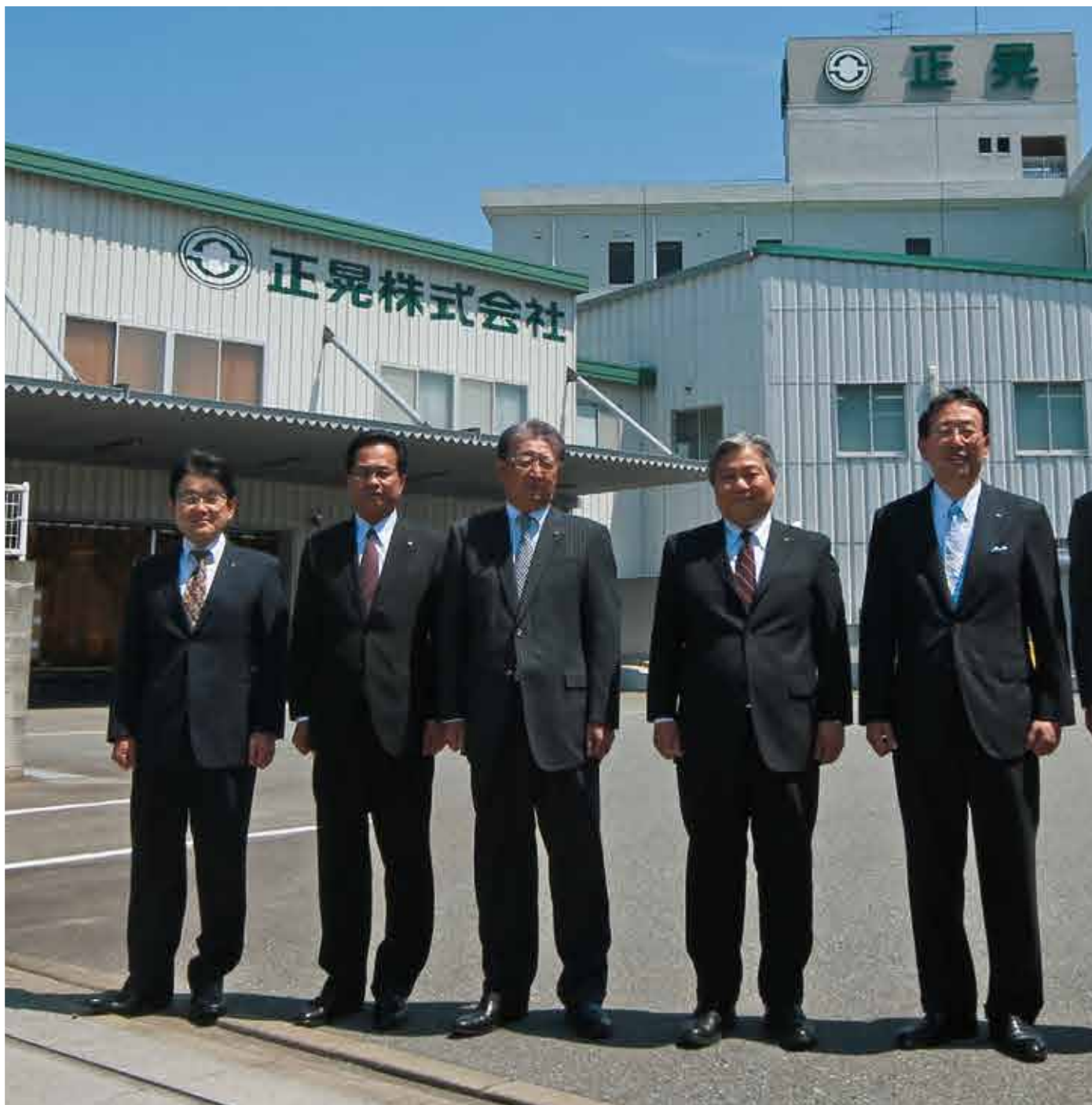
タートを切りました。昨年10月に設立した正晃ホールディングスの下に、我が社（正晃）を含めたグループ5社が傘下に入る新体制です。

グループ全体を統括する持株会社の下、グループ各社における、それぞれの担当エリアでの役割を明確化しました。お客様のご要望にきめ細かくお応えするためにも、今後はグループ各社がそれぞれの地域に特化した方法で営業を行ってまいります。

もう1つ、海外での事業拡大にも注力していきたいと思っています。現在は中国に設立した子会社「上海正晃商贸有限公司」を通して、現地の病院や、日系企業の研究機関を中心に薬品を販売していますが、今後はベトナムをはじめ、タイやシンガポール等の東南アジアでの事業を展開したいと考えています。

さらに大きな目標として、グループ売上1,000億円を達成することを掲げています。今よりも売上高を約1.5倍に拡大する必要があるため、かなり高い目標ではありますが、社内には「1,000億円なんて無理だ」と言う者は一人もおらず、皆「1,000億円すごいですね！やりましょう！」という前向きな姿勢で頑張っています。

大きな目標に向けて、今後も頼もしい社員とともに精進してまいります。



▲本社前 左から西村専務、城井専務、藤沢副社長、印社長、柴戸頭取、幸支店長(福岡銀行)、南郷取締役

◎インタビューを終えて



福岡銀行
取締役頭取 **柴戸 隆成**

試薬や検査薬を中心とした医療関連商品等を、多くの大学や病院にお届けすることで、医療や科学分野の発展に貢献してられました。

お取引先のもとへ足を運び、そのニーズに的確に応えていくことで、揺るぎない信頼を得ておられますが、これは、コミュニケーションや信頼関係を何よりも大事にしてこられた印社長の思いが社員の皆様に浸透している証だと思います。

九州から日本全国、さらに世界を舞台に、医療・科学の専門商社として今後ますます発展されることを祈念いたします。



トップ
に聞く！

「安全・確実・迅速」を第一に
7拠点で全九州をカバーする
建設機械運搬のプロ集団。



九州安芸重機運輸
株式会社

代表取締役社長

すが やす き

菅 康紀氏

取引店／福岡銀行 雑餉隈支店



▲本社前(左から菅社長、柴戸頭取)

建設機械のレンタル事業から 輸送事業へ転業

建設機械の輸送を専業で行っている我が社の創業は1970年（昭和45年）。私の父・菅弘信（現会長）が、当時勤務していた広島県の建設機械輸送会社である安芸重機運輸から分社・独立して九州安芸重機運輸を設立しました。

創業にあたり父・弘信が目をつけたのは、道路舗装機械を中心とする建設機械のレンタル事業でした。当時の九州は高度経済成長期の建設ラッシュに沸いており、大規模住宅地の造成や、高速道路の整備、山間地における未舗装道路の舗装化、ダム工事、ゴルフ場開発などの大型工事が相次いでいました。安芸重機運輸の九州支店にいた弘信は、「これから九州にも建設機械のレンタルニーズがたくさんでてくるはず」と思い、レンタル事業を独立開業しました。



九州全域をカバーし、公共性の高い輸送事業を展開しておりますね。

▲柴戸頭取

大きな建設機械は
夜間に運びます



九州全域に広がる営業ネットワーク



小型建機から大型建機まで、お客様の要望に合わせて運搬いたします。

▶ 菅社長



見学風景



すると弘信の予想どおり、建設関連事業者から多くの引き合いが寄せられるようになりました。最盛期には約500台もの建機を保有し、レンタルにとどまらず建設機械のオペレーター派遣を手掛けるなど、事業は順調に拡大しました。

しかし、昭和50年代になると、多くの同業者が九州に進出。競争が激しくなってきました。そこで次に弘信が着目したのがそれまでの建設機械のレンタルではなく、建設機械の輸送事業でした。当時九州には建設機械の輸送を手掛ける企業はほとんどありませんでした。それまでのレンタル事業で培ってきた輸送ノウハウやお客様とのネットワークを活かすことで、大きな需要を取り込めると考え、建設機械の輸送に特化することを決意しました。以降、福岡の百道地区や香椎地区の埋立工事、天神や博多駅周辺の再開

発のほか、九州自動車道、鹿児島空港、熊本県と宮崎県をまたぐ加久藤峠のループ橋等、九州を代表する大型建設工事をはじめ、多くの建設現場へ建設機械を輸送してきました。特に九州自動車道建設工事の際には、使用された建設機械の約8割を我が社が輸送しました。

豊富な輸送専用車数で 迅速・安全に現場へ納入

「安全」「確実」「迅速」を第一主義とする我が社の事業を支えているのが、九州全域に広がる営業ネットワークです。我が社は現在、福岡、大分、熊本、鹿児島、宮崎、都城、日向の7ヶ所に営業所を構えて輸送業務を展開しています。我が社のように九州全域をほぼカバーできる輸送体制を構築している会社はありません。このネットワークを活かした迅速、

熊本地震の復興支援（建設機械の輸送）



安全への取り組み



▲毎月1回開催している安全会議



▲指差呼称

かつきめ細やかな輸送サービスこそが我が社の最大の強みであると考えています。

具体的な例として、受付を行う配車係は、お客様から電話等で依頼を受けたその場で何千種類とある建設機械の中からの機械の輸送を希望しているか、またその機械の大きさ、重さ、形状はどのようなものか、そしてどのトラクター・トラックに積み込むべきかを瞬時に判断します。また、ドライバーの現場経験数も群を抜いており、狭い市街地の中、山奥の林道などといった悪条件の現場であっても、これまで培ってきた運転技術により建設機械を確実にかつ迅速に搬入しています。

さらに、4トントラックから50トン積みトレーラーまで、さまざまな建設機械運搬専用車を80台以上保有していることも差別化となっています。建設機械運搬専用車の保有台数もトップクラス

(西日本)であり、建設機械メーカーから、建設機械のレンタル会社、土木・舗装・解体・基礎工事関連の会社など、建設機械を取り扱う様々な業種との幅広いネットワークが強みです。

「事故ゼロ」を目指した 徹底した安全対策・管理

ところで工事現場にある大きな建設機械は、どの時間帯に納入されているかご存知でしょうか？答えは夜間です。交通事故や道路の破損を避けるため、交通量の少ない夜間に運搬します。建設機械という大きく、かつ重い荷物を輸送

するには、国土交通省から許可を得る必要があります、遵守すべきルールは多岐にわたります。我が社は建設機械運搬のプロ集団として、常に安全を最優先しています。

例えば、朝の点呼、アルコールチェックにはじまり、勤務中のデジタルタコグラフやドライブレコーダーによる運行管理や、乗務時間・休憩時間の厳格な管理、そして健康診断、ストレスチェック、安全会議などの定期的な実施など、様々な角度から安全対策を講じています。特に毎月1回開催

している安全会議では、作業中に感じた「ヒヤリ・ハット」事例を全ドライバーで共有しているほか、

KYT(危険予知トレーニング)という危険状況や想定外の事故などのシミュレーションを行い、リスクを予想回避する技術を徹底して習得しています。

このように安全管理を徹底するのにも、すべては「安全に走る・お客様の積荷建設機械を大切に安全に運ぶ」という我が社の使命に基づくものです。

被災地を支援しながら 2020年への飛躍を期して

今後は東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて建設需要が高まっている関東地域への共

同輸送を実施するなど、輸送対象エリアを段階的に拡大していくことも検討しています。

我が社は4年後の2020年に創業50周年を迎えます。ご承知のとおり、2020年に東京オリンピックが開催されます。実は、私が生まれた1964年にも東京オリンピックが開催されました。我が社の関東地域への輸送エリア拡大が、2020年の東京オリンピック成功の一助となる縁を大切にしながら、これからも一步一步着実に成長していきたいと思っています。

最後になりますが、今年4月の熊本地震では熊本・大分地区において大きな被害が出ています。我が社においても熊本営業所が被災しました。熊本での被害状況を目の当たりにし、何とか熊本・大分の力になりたいという強い思いから、本業である建設機械輸送の立場から今以上に熊本・大分の復旧・復興に全力を注いでまいります。





▲本社前 前列左から菅会長、菅専務、菅社長、柴戸頭取、田中支店長(福岡銀行)

◎インタビューを終えて



福岡銀行
取締役頭取 柴戸 隆成

当社は建設機械の輸送に特化され、これまで九州を代表する大型工事をはじめ、多くの建設工事に不可欠な存在として、九州発展の一翼を担ってこれられました。このたびの震災からの復旧・復興に向けた工事現場でも当社が輸送した建設機械が支えています。

4年後に迎える創業50周年に向け更に飛躍されるとともに、今後も九州のインフラ整備に貢献されることを期待しております。



トップ
に聞く！

地震を乗り越え営業再開。
阿蘇エリア最大の温泉郷・内牧温泉は
地域一体となつて復興を目指しています。

有限会社 望蘇閣
代表取締役社長

稲吉 淳一氏

取引店／熊本銀行 阿蘇支店



竹下頭取
ゼロからの創業をはじめ、
様々な挑戦が今の御社を

つくられたそうですね。



稲吉社長
我が社の創業者である私
の父・達夫の実家は福岡市

内でタクシー会社を経営してお
り、次男であった達夫もタクシー
運転手として働いていました。24
歳のときに突然、祖父（達夫の父）
から「阿蘇市内牧で廃業した旅
館を引き継いで旅館業をやってみ
ないか」と勧められました。達夫





▲阿蘇プラザホテル(左から稲吉社長、竹下頭取)

には旅館経営の経験はなく、また阿蘇にも縁がなかったことから、祖父の勧めに大変驚き、非常に悩んだようです。しかし、「今後阿蘇への旅行需要はやまなみハイウェイの開通により伸びてくるだろうし、これも何かの縁ではないか」と創業を決意し、1961年(昭和36年)12月に客室6部屋の旅館「望蘇閣」を開業しました。

開業後は地元の方々から温かく迎えられ、いろいろなサポートをいただいたおかげで宿泊客は年々増加し、旅館経営は軌道にのりました。しばらくすると、増加する宿泊客に対応出来ず、達夫は旅館の新築移転を決断しました。「望蘇閣」から「阿蘇プラザホテル」と名称を変更し、団体客も受け入れ可能な施設へと整備したのが1973年(昭和48年)。立地として選んだのは、阿蘇(内牧)の中心部から離れていたこともあり不安でしたが、観光ブーム



1

にもり、宿泊者数はますます増加。その後、ホテル敷地内で温泉の発掘にも成功し、大浴場や露天風呂を設置するなど、経営は順調に進んでいきました。

ところが、私が社長に就任した頃（2003年（平成15年））になると、それまでの主要顧客だった団体客の需要が徐々に減少してきました。悩んだあげく、個人のお客様にも楽しんでいただけるようなホテルへのリニューアルに方向転換を決意しました。いろいろと苦労はありましたが、客室の改装やレストランの開設、従業員のおもてなしも含めた受入体制の整備などに取組み、今では団体客から家族連れまで幅広いお客様にご宿泊いただけるようになりました。

阿蘇の絶景を望める天然温泉が自慢だそうですね。

当ホテルからの眺めは最高です。

世界ジオパーク（※1）にも認定された阿蘇の雄大な景色を一望

することができます。

きます。阿蘇

五岳（※2）は

見る方向に

よつて見え方が

大きく変わり、内牧からは「阿蘇の涅槃像」と言われる、まるでお

釈迦様が仰向けに寝ているよう

な美しい山々を見ることができま

す。当ホテルでは、屋上展望露天

風呂「嶽湯空拝」、日本庭園に囲

まれた「峰望の湯」、本館最上階

にある大浴場「嶽湯客賑」という

表情の異なった3つの天然温泉を

堪能しながら絶景を御覧いただ

けます。

旅の楽しみである料理も自慢

の一つです。地元・熊本の四季折々

の食材をふんだんに使用した会

席料理を中心に提供していま

阿蘇の絶景が広がる
贅沢な屋上
露天風呂ですね。

竹下頭取▶





見学風景



▲館内を見学



▲屋上展望露天風呂からの眺めを見学



▲併設のshop&café「zen」を見学



- ① 阿蘇の食材を厳選し、旬の食材をふんだんに使用した会席料理(写真は一例)
- ② 阿蘇の風景を望む客室
- ③ 日本庭園に囲まれた「峰望の湯」

【背景】屋上展望露天風呂「獄湯空拝」



相次ぐ自然災害にも皆様一丸
となつて立ち向かわれていま
すね。

ここ数年、阿蘇では自然災害が
相次いでいます。最初が4年前
(2012年(平成24年)7月)の
北部九州豪雨災害。その時は内

す。料理のメニューは私と料理長
が中心となつて開発しているの
ですが、なかでも今最もご好評を
いただいているのは、冷めにくい「魔
法のシチュー」。シチューをセロハン
に包んで提供することで、時間が
経っても熱々のシチューを美味し
く食べていただけることから、特
に女性の方に人気です。

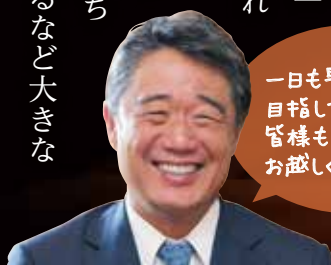
(※1)世界ジオパーク：世界的に貴重
な地質、地形、火山などの地質遺
産を複数有していることを、世界
ジオパークネットワーク(ユネスコ
の支援によつて設立されたネット
ワーク)から認定された自然公園
(※2)阿蘇五岳：阿蘇の中心部にある
根子岳、高岳、中岳、烏帽子岳、杵
島岳の5つの山

牧でも近くの黒川が氾濫し、阿蘇
温泉観光旅館協同組合に加盟す
る旅館22軒のうち15軒が浸水な
どの被害を受けました。当ホテル
も1階部分がすべて浸水し、営業
休止に追い込まれましたが、従業
員は一人も辞めることなく、一丸
となつて復旧に取組み、同年11月
には無事に営業を再開しました。

昨年(2015年(平成27年))

は阿蘇山の噴火に見舞われ、そこ
からようやく立ち直ってきたとこ
ろに、今年4月の熊本地震があ
りました。地震により組合に加盟
する旅館のうち9軒が、源泉が
枯れたり、湯

量が減ったり
するなどし
て営業休止
に追い込ま
れました。当
ホテルも二
つの源泉の
うち一つが
止まるなど
大きな



一日も早い復興を
目指しています。
皆様もぜひ、阿蘇へ
お越しください!!

◀稲吉社長

被害を受けました。しかし、多くの方々の助けをいただき、7月1日から営業を再開することができました。

これまで数々の災害に直面しましたが、その度に乗り越えられたのは、従業員の頑張りと全国の皆様からのご支援があったからこそだと感謝しています。今回の熊本地震から、従業員一同、また温泉旅館組合、そして阿蘇地域が一体となって一日も早い復興を成し遂げたいと願っています。

熊本地震からの復興については私どももグループを挙げて支

援してまいります。最後に今後の展望を教えてください。

まずは今回の熊本地震の被災から早期に復興することが当面の目標です。特に外国人観光客の客足は、地震以降完全に途絶えてしまっていますが、必ず戻ってくると思っています。今後開催される2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピック等を契機に、より多くの外国人の方に熊本・阿蘇を知ってもらい、ファンになっていただきたいと思っています。そのために、情報発信や外国語を話せる従業員の育

成などに取り組んでいきたいと考えています。

もちろん国内のお客様も重要です。目指しているのは「元気循環型温泉地」。疲れた時には当ホテルに来ていただき、美味しい食事や温泉などで元氣を取り戻してもらえようなお手伝いをしたいと考えています。その目標に向けて、今後は新しいホテルでの過ごし方の提案も行っていくつもりです。夕方にホテルに来て、次の日の朝にはすぐ出発するというスタイルではなく、ホテルでのんびりと読書をしたり、阿蘇の素晴らしい景色をスケッチするなどお客様な

りのホテルライフを満喫して、心からリフレッシュしていただけるような「滞在型」の過ごし方を提案したいと考えています。

「阿蘇に泊まるなら阿蘇プラザホテル」と指定していただけるような「阿蘇の指定席」となり、今後100年続くホテルを従業員、そして阿蘇とともにつくり上げていきたいと思っています。



▲2012年7月、北部九州豪雨災害。社員一丸となって復旧に取り組む



▲左から 井さん、家興さん、米倉支配人、由紀若女将、竹下頭取、稲吉社長、北岡料理長、岩下支店長（熊本銀行）

◎インタビューを終えて

このたび、地震被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。北部九州豪雨災害や熊本地震といった大きな災害を乗り越え、ピンチをチャンスへ切り換え前向きに進んでいかれる稲吉社長の行動力に力強さを感じました。

阿蘇・内牧温泉が一日でも早く賑わいを取り戻せるよう祈念するとともに、阿蘇プラザホテルが阿蘇の雄大な景色を望める「阿蘇の指定席」として、今後も癒しの空間を提供され続けることを期待しています。

我々熊本銀行も全力で復興のお手伝いを進めてまいります。



熊本銀行
取締役頭取 竹下 英



トップに聞く！

茶園管理から 加工・販売までを一貫して行い 妥協しないお茶づくりを 実践しています。



吉澤頭取
創業のきっかけを教えてください。



小林社長
我が社の創業は1928

年（昭和3年）。長崎県諫早市で製粉・製麺業を営んでいた祖父・小林新平が、北松炭田の一角として栄え賑わっていた長崎県北松浦郡世知原村（現佐世保市世知原町）に移り住み、当地でも製粉・製麺業を開業したことがきっかけです。その後新平は、製麺作業を行わない夏場の副業とし



有限会社 小林製茶
代表取締役

小林 幸平氏

取引店／親和銀行 吉井支店



て、当時世知原町で少しずつ行われていた茶の栽培製造に目を付け、製茶業に参入したそうです。

製麺業、製茶業ともに順調に推移していたのですが、戦後1955年（昭和30年）頃には食料も豊富に出回るようになってきた中で、二代目の父・勝行は「これからはお茶等の嗜好品が一般家庭にも広がる時代が来る」と感じ、1965年（昭和40年）に製粉・製麺業をやめて製茶業に専念することを決意しました。

その後は、現在世知原町でのお茶づくりにおける基本となっている「蒸し製（※1）」の製法を世知原町で初めて取り入れるなど、新たな技術設備を積極的に導入しながら、製茶業を炭鉱閉山後の世知原町の基幹産業にすべく、おいしいお茶づくりに励んできました。

（※1）蒸し製：茶葉を釜で炒る従来の製法ではなく、茶葉を蒸すことで熱を加える製法



▲自社茶園（左から小林社長、吉澤頭取）

世知原茶は全国的にも高い評価を受けていますね。

世知原茶は鮮やかな黄緑色のお茶で香り高く、旨味と渋味のバランスも取れており、「味・香り・色」の三要素が高いレベルで揃っているお茶として全国でも高く評価されています。その要因には2つあります。

1つ目は環境です。世知原茶の栽培地は、長崎県内では雲仙に次ぐ冷涼な地域で、霧深く、また県立自然公園にも指定されるほど清らかな水が豊富に存在するなど、高級茶の生産には最適な環境が整っています。

2つ目は世知原茶が全国的にも珍しい玉緑茶(※2)であることです。玉緑茶は渋味が少なく、まろやかな味わいが特徴で、世知原産の茶葉のおいしさを最大限に引き出してくれます。

(※2)玉緑茶…主に九州北・中部でつくられ、煎茶とは異なり精揉(せいじゅう)に形を細長くまっすぐに整える工程という工程が無く、茶葉が勾玉(かぎたま)状になるように仕上げた緑茶のことです。ぐり茶とも呼ばれる。

茶葉の栽培から加工、販売まで一貫して、こだわりのお茶づくりを行っているそうですね。

製茶業界では、栽培農家、問屋、加工業者、販売店が分業していることが多いのですが、我が社では全ての工程を自社で手掛けることにこだわっています。そうすることで、お茶が最も美味しくなる時期に茶葉を摘み、新鮮なうちに加工、販売することが可能となるほか、お客様のニーズをいち早くお茶づくりに反映させることもできるためです。

お茶づくりの一つ一つの工程にもこだわっています。まず、茶葉生産においては、良質な茶葉を育てるため、契約農家との連携を強化

茶葉の風味を引き出せるよう、自社工場で丁寧に加工しています。

小林社長▶



自社茶園



自社工場



国見山 (かぶせ茶)

おいしいお茶の淹れ方(3人分)

茶の葉量	湯の温度	浸出時間
5杯 ティースプーン(2g)	50℃	2分

お茶の香りが豊かで、程よい渋みが良いですね。

吉澤頭取▶



遠見の露

おいしいお茶の淹れ方(3人分)

茶の葉量	湯の温度	浸出時間
3杯 ティースプーン(2g)	70℃	1分

一番人気

遠見の露



し、全ての農家で自社茶園と同様の管理の行き届いた茶園づくりを行っていただいています。

また、お茶を淹れたときの色や香りを決める茶葉の蒸し工程では、熟練の職人がその日の温度や湿度、原料である茶葉の状態を見極めて、最適な時間・温度で丹念に茶葉を蒸しています。

そして最後の仕上げ加工においても、それぞれの茶葉が持つ香りや味を最大限引き出すようきめ細かく温度調整をしながら、火入れ乾燥を行った後、徹底した選別を行います。選別では専用の機械を使用して粗悪な茶葉を取り除くのですが、通常1、2回機械を通せば十分なところ、我が社では納得のできるお茶ができるまで、多いときには4〜5回選別機械に通すこともあり、選別機械メーカーの方から「そこまで徹底しているのですか」と大変驚かれる程です。

完成した商品は世知原町等にある店舗と通販で販売しています。

一番人気の商品は「遠見の露^{とおみつゆ}」。

味（旨味や苦味等）のバランスが良く、価格もリーズナブルで、ご家庭用から贈り物まで幅広くご愛顧いただいています。また、販売にあたっては、重厚なお茶の味を楽しめる「国見山」や、これからの暑い季節にうれしいサッパリとした後味の「水出し煎茶」等、豊富なラインナップの中から用途や季節に合ったお茶をご提供することも努めています。

お茶の本当のおいしさを伝える活動にも注力されているようですね。

お茶の消費拡大を図るためには、お茶の本当のおいしさを知ってもらい、ファンになってもらうことが重要です。そこで、我が社は「日本茶インストラクター」等



▲小林専務

世知原茶を使った商品開発を積極的に行っています。



うがい用緑茶

ガラゴロ茶



お供え用



お茶のお菓子

させば日和



おいしいお茶の淹れ方(3人分)

茶の葉量	湯の温度	浸出時間
5杯 ティースプーン(2g)	40℃	3分

夏茶物語

茶葉に旨みがあり、まろやかでコクのある味わいです。



水出しできる粉茶ティーパック

水出し煎茶



▲吉澤頭取



の資格を有する社員が、お茶の知識や淹れ方について学ぶ教室を各地で開催するなど、お茶のおいしさを伝える活動を積極的に行っています。

こんなエピソードがあります。ある会社の社員の方が「一番高価なお茶を買いたい」と来店されたので、その理由をお伺いしたところ「海外から大事なお客様がくるので、おいしいお茶でもてなし

したい」とのことでした。そこで私は「どんなに高価な茶葉を使っても淹れ方を間違うとおいしいお茶はできませんよ」とお伝えするとともに、その会社に日本茶インストラクターを向かせ、お茶を入れて差し上げることにしました。すると、皆様がお茶のおいしさに大変感激され、それからその会社の方々がお茶の淹れ方を学びに我が社へ通われるようになる

など、お茶の大ファンになっていたいています。

お茶の素晴らしさを改めて実感できるお話ですね。最後に将来展望をお聞かせください。

製茶業界は、現在お茶の国内消費量減少や茶葉栽培農家の担い手不足などの課題が多く存在しています。今後はそうした課題の

自社工場見学風景





解決に、少しでも貢献していくことが我が社の使命だと考えています。

具体的には、お茶の消費拡大に向けた商品開発に注力しています。その一つが「がい用緑茶」「ガラゴロ茶」です。ガラゴロ茶は、緑

茶に殺菌・抗ウイルス作用のあるカテキン、虫歯予防に効果があるフッ素などが含まれていることに着目して開発したもので、ご利用頂いている学校関係者からは「病気で休む生徒が減った」と大変好評いただいています。

最後に、私が先代から事業を受け継ぐとき、「細く長く」という理念も受け継ぎました。今後もその理念を守り、地域密着型の堅実な経営を実践していくとともに、お茶文化の発展と世知原茶の普及に精進してまいります。



▲最前列左3番目から小林専務、小林社長、吉澤頭取、岡田支店長(親和銀行)

◎インタビューを終えて



親和銀行
取締役頭取 吉澤 俊介

渋味と甘みのバランスがとれ、希少価値も高い世知原茶は高級茶として人気を博しています。

貴社はいち早く世知原茶に合った製法を導入されるなど、世知原茶の発展に大きく貢献してくれました。現在でも、新たな商品開発やお茶文化の普及に注力しておられます。

これからも佐世保・世知原産の美味しいお茶を全国のファンの皆さまに届けていかれることを祈念いたします。



会社概要

トップに聞く

ふくおかフィナンシャルグループでは、
ブランドスローガンである
「あなたのいちばんに。」
の実践に努めてまいります。

福岡銀行 雑餉隈支店

photo by ますだ先輩



よござっしょのくま支店へようこそ！



医療用検査機器を販売

正晃 株式会社

正晃グループは、九州一円を中心に関東や関西、北海道に営業拠点を構え、大学や医療機関向けに試薬や臨床検査薬、医療用検査機器、学術研究用分析機器等をお届けしています。

今後は東南アジアでの事業展開も検討しており、大きな目標であるグループ売上高1,000億円を目指し、これまで通りお客様との信頼関係を大事にしながら精進してまいります。



▲試薬



- 創 業：1950年
- 設 立：1955年
- 所 在 地：福岡市東区
- 資 本 金：5,000万円
- 従 業 員：504名(グループ700名)
- 事業内容：
 - 基礎研究用試薬販売
 - 医療用検査薬販売、医療機器販売等
- グループ：
 - 正晃ホールディングス株式会社
 - 株式会社トアサイエンス
 - 沖縄メディックス株式会社
 - 佐賀正晃株式会社
 - 上海正晃商貿易有限公司
 - 株式会社バイオテック・ラボ
 - 株式会社フロンティア・サイエンス
 - 株式会社スクラム
 - 正晃テック株式会社

- 取 引 店： 福岡銀行 
 箱崎支店
 092-641-0331



被災地への建設機械搬入の様子

九州安芸重機運輸 株式会社

福岡市博多区に本社を置き、福岡、大分、熊本、鹿児島、宮崎、都城、日向の7ヶ所の営業所とネットワークを結び、九州全域・西日本一帯に建設機械を輸送するプロ集団です。

西日本トップクラスの80台以上の輸送専用車で、さまざまなご要望に合わせて、安全・確実・迅速に建設機械を輸送します。

これからも社会の発展と自然環境を守る重要な使命をもって、さらなる飛躍を目指します。



- 創 業: 1970年
- 設 立: 1970年
- 所 在 地: 福岡市博多区
- 資 本 金: 1,000万円
- 従 業 員: 78名
- 事業内容: 建設機械輸送業
- 事業拠点:

(本 社) 福岡市博多区

(支店・営業所)

福岡市博多区、大分県大分市、
熊本市東区、鹿児島県鹿児島市、
宮崎県宮崎市、宮崎県都城市、
宮崎県日向市

- 取 引 店: 福岡銀行、
雑餉隈支店
092-581-1531



屋上展望露天風呂「獄湯空拝」

有限会社 望蘇閣

阿蘇・内牧温泉で創業半世紀余の老舗「阿蘇プラザホテル」を運営しています。阿蘇の絶景を望むロケーションが自慢で、屋上展望露天風呂、本館最上階大浴場、日本庭園露天風呂という3つの天然温泉を有しています。これからも「元気循環型温泉地」として、疲れた時には当ホテルへ来ていただき、美味しい食事や温泉などで元気を取り戻してもらえるようなサービスに努めてまいります。



- 創 業：1961年
- 所 在 地：熊本県阿蘇市
- 資 本 金：300万円
- 従 業 員：54名
- 事業内容：旅館業
- 事業拠点：熊本県阿蘇市



- 取 引 店： 熊本銀行
阿蘇支店
0967-32-0735



有限会社 小林製茶

世知原茶は「味・香り・色」の三要素が高いレベルで揃っているお茶として全国でも高く評価されています。

我が社では、一番人気の「遠見の露」を始め、重厚なお茶の味を楽しめる「国見山」や、これからの暑い季節にうれしいサッパリとした後味の「水出し煎茶」等、豊富なラインナップを揃えています。

これからも、お茶文化の発展と世知原茶の普及に精進してまいります。



- 創 業：1928年
- 所 在 地：長崎県佐世保市
- 資 本 金：1,000万円
- 従 業 員：10名
- 事業内容：世知原茶等の製造・加工・販売
- 事業拠点：（本社・工場）長崎県佐世保市



▲世知原茶
「遠見の露」

- 取 引 店：親和銀行 吉井支店
0956-64-3131